学校番号	206

令和２年度　芸術（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術Ⅰ」（日本文教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」目的や機能から考える「デザイン」感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。
■一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、表現や感性が更に広がったり深まったりします。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創作活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	美術のはじめに	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 ・クロッキー「手」	○ ○	 ○	 ○	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。 b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c:クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。	学習活動の様子 制作の様子 作品
前期	明暗で立体感を表現	【デザイン】【鑑賞】 ・色彩基礎 ・色彩構成 「立方体」 ケント紙にアクリル絵の具で着色する。 立体的に見えるように、明度・彩度・配色・構成等を工夫し表現する。 ・作品展示	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	a:指定された図形を用いて、立体的に見える表現ができることに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら配色を考えたり、構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:条件や美しさとなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 d:他者の多様な表現を感じ取ることができる。	 制作の様子 制作途中の作品 作品

前期	自画像	【絵画・彫刻】【デザイン】 【鑑賞】 ・アイデアスケッチ 自画像にふさわしいポーズや目線などを考える。 ・エスキース 写真などを参考にして構成を決める。配置する文字の選択やバランスを考え図案を決める。 ・制作 アクリル絵の具を用いて色面彩色をする。 ・相互鑑賞・作品展示	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○	a: 前課題で学んだ色相や明暗を使い、自分らしい表現に関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 b: ポーズや文字の配置など、工夫した構図であるか。絵の具の特性や配色を考えて表現の構想を練っている。 c:自画像の意図やイメージを大切にして、配色や描画の工夫をして、条件や計画を基に表現している。 d:作者の意図やイメージを感じ取り、作品のよさについて理解を深めている	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 完成作品 鑑賞レポート
前期	二枚の写真	【映像メディア表現】 ・教科書の作例などを見せ、2枚の写真によって時間の経過を考えさせる。 ・夏期休暇中の課題として撮影。 ・教員にデータで提出させ、授業時に発表。相互鑑賞。	○ ○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a:作例からヒントを得て、自身も積極的に取り組もうとする。 b:身の回りの事象に関心を持ちテーマを探し撮影できるか。 C:タイミングや構図に配慮して面白い画面作りができる。 D:他者の作品のよさについて理解を深めている。	ワークシート スケッチ 完成作品 鑑賞レポート
後期	スクラッチ皿(円形を生かして)	【デザイン】【鑑賞】 ・アイデアスケッチ 与えられた条件(円形)を生かしたデザインを考える。 ・精密な下絵を描き、完成作品の配色や削りの効果を考える。 ・デザインの効果を考え皿の色を選択するスクラッチの作業を進め、削りの効果を確かめながら丁寧に完成させ、焼成。 ・展示をし、他生徒作品を鑑賞する。	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○	a:皿の用途や美しさに気づき自分らしい表現に取り組もうとしている。 b:円形を生かしたデザインや削る効果を考えて主題を形成している。 c:スクラッチの効果やバリエーションに工夫し、美しい作業を心がけて、計画的に制作している。 d:他の作品のよさや作者の意図を汲み取り作品に対して理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 途中の作品 制作経過 完成作品 鑑賞レポート

後期	ペーパーナイフ	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・木の特性を感じること、「封筒を開封する」機能について考える。 ・アイデアを考える ・木彫のための道具の使い方を正しく学び、主題に応じた形をつくる。 ・美しい仕上げとするために表面を磨き、加工、彩色する。 ・展示し、他生徒作品を鑑賞する。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○	a:木材の特徴に関心をもち、表現や鑑賞活動に主体的に取り組もうとしている。 b:細長い形を生かし、機能とデザインのバランスをとり、独自性のある作品を考えている。 c:材料や道具の特徴を知り、表現方法を工夫して主題を見つけ表現しようとしている。 d: 他の作品のよさや作者の意図を汲み取り作品に対して理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 途中の作品 完成作品 鑑賞レポート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。